

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 1 月 31 日(2023.1.31)

【公開番号】特開 2022-83268(P2022-83268A)

【公開日】令和 4 年 6 月 3 日(2022.6.3)

【年通号数】公開公報(特許)2022-099

【出願番号】特願 2020-194616(P2020-194616)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 4 B

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 1 月 23 日(2023.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【請求項 1】

第 1 リールと、

第 2 リールと、

第 3 リールと

を備え、

第 1 リール、第 2 リール、第 3 リールにそれぞれ描かれている図柄数は 20 個であり、
各リールの停止時に、各リールに描かれている 3 個の連続した図柄が表示窓内の上段、

中段、下段に停止可能であり、

各リールにそれぞれ対応して設けられているストップスイッチを備え、

第 1 リールに対応するストップスイッチが停止操作された場合に表示窓内に停止する第 1 リールの 3 個の図柄の位置をそれぞれ第 1 リール上段、第 1 リール中段、第 1 リール下 30

段とし、
第 2 リールに対応するストップスイッチが停止操作された場合に表示窓内に停止する第 2 リールの 3 個の図柄の位置をそれぞれ第 2 リール上段、第 2 リール中段、第 2 リール下 40

段とし、
第 3 リールに対応するストップスイッチが停止操作された場合に表示窓内に停止する第 3 リールの 3 個の図柄の位置をそれぞれ第 3 リール上段、第 3 リール中段、第 3 リール下

段とし、
第 1 リール上段と、第 2 リール上段と、第 3 リール上段と、を結ぶラインを第 1 ライン 40

とし、
第 1 リール中段と、第 2 リール中段と、第 3 リール中段と、を結ぶラインを第 2 ライン

とし、
第 1 リール下段と、第 2 リール下段と、第 3 リール下段と、を結ぶラインを第 3 ライン

とし、
第 1 リール上段と、第 2 リール中段と、第 3 リール下段と、を結ぶラインを第 4 ライン

とし、
第 1 リール下段と、第 2 リール中段と、第 3 リール上段と、を結ぶラインを第 5 ライン

とし、
第 1 リール下段と、第 2 リール中段と、第 3 リール下段と、を結ぶラインを第 6 ライン 50

第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 1 ラインに停止表示する場合を有し、

第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 2 ラインに停止表示する場合を有し、

第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 3 ラインに停止表示する場合を有し、

第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 4 ラインに停止表示する場合を有し、

第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 5 ラインに停止表示する場合を有し、

第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 6 ラインに停止表示する場合を有し、

第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P とが第 1 ラインから第 6 ラインまでのいずれかのラインに停止表示したときに、第 1 リールの図柄 Q が表示窓内の所定位置に停止可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する（カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。）。

本発明（第 1 4 実施形態）は、

第 1 リールと、

第 2 リールと、

第 3 リールと

を備え、

第 1 リール、第 2 リール、第 3 リールにそれぞれ描かれている図柄数は 2 0 個であり、各リールの停止時に、各リールに描かれている 3 個の連続した図柄が表示窓（1 8）内の上段、中段、下段に停止可能であり、

各リールにそれぞれ対応して設けられているストップスイッチ（4 2）を備え、

第 1 リールに対応するストップスイッチが停止操作された場合に表示窓内に停止する第 1 リールの 3 個の図柄の位置をそれぞれ第 1 リール上段、第 1 リール中段、第 1 リール下段とし、

第 2 リールに対応するストップスイッチが停止操作された場合に表示窓内に停止する第 2 リールの 3 個の図柄の位置をそれぞれ第 2 リール上段、第 2 リール中段、第 2 リール下段とし、

第 3 リールに対応するストップスイッチが停止操作された場合に表示窓内に停止する第 3 リールの 3 個の図柄の位置をそれぞれ第 3 リール上段、第 3 リール中段、第 3 リール下段とし、

第 1 リール上段と、第 2 リール上段と、第 3 リール上段と、を結ぶラインを第 1 ラインとし、

第 1 リール中段と、第 2 リール中段と、第 3 リール中段と、を結ぶラインを第 2 ラインとし、

第 1 リール下段と、第 2 リール下段と、第 3 リール下段と、を結ぶラインを第 3 ラインとし、

第 1 リール上段と、第 2 リール中段と、第 3 リール下段と、を結ぶラインを第 4 ラインとし、

10

20

30

40

50

第 1 リール下段と、第 2 リール中段と、第 3 リール上段と、を結ぶラインを第 5 ラインとし、

第 1 リール下段と、第 2 リール中段と、第 3 リール下段と、を結ぶラインを第 6 ラインとし、

第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 1 ラインに停止表示する場合を有し、

第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 2 ラインに停止表示する場合を有し、

第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 3 ラインに停止表示する場合を有し、

第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 4 ラインに停止表示する場合を有し、

第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 5 ラインに停止表示する場合を有し、

第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 6 ラインに停止表示する場合を有し、

第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 1 ラインから第 6 ラインまでのいずれかのラインに停止表示したときに、第 1 リールの図柄 Q が表示窓内の所定位置に停止可能である

ことを特徴とする。

ここで、「第 1 リール」、「第 2 リール」、「第 3 リール」は、実施形態では「左リール 3 1」、「中リール 3 1」、「右リール 3 1」に相当する。

また、「第 1 リール上段」、「第 1 リール中段」、「第 1 リール下段」は、実施形態では「左上段」、「左中段」、「左下段」に相当し、「第 2 リール上段」、「第 2 リール中段」、「第 2 リール下段」は、実施形態では「中上段」、「中中段」、「中下段」に相当し、「第 3 リール上段」、「第 3 リール中段」、「第 3 リール下段」は、実施形態では「右上段」、「右中段」、「右下段」に相当する。

さらにまた、「第 1 ライン」、「第 2 ライン」、「第 3 ライン」、「第 4 ライン」、「第 5 ライン」、「第 6 ライン」は、実施形態では「上段ライン」、「中段ライン」、「下段ライン」、「右下がりライン」、「右上がりライン」、「小山ライン」に相当する。

さらに、「図柄 P」は、実施形態では「ベル」に相当し、「図柄 Q」は、実施形態では「チェリー」に相当する。

また、「第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 1 ラインに停止表示する場合」とは、図 2 5 9 (2) に示すように、左リール 3 1 の「ベル」、中リール 3 1 の「ベル」、右リール 3 1 の「ベル」が「上段ライン」に停止表示することに相当する。

さらにまた、「第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 2 ラインに停止表示する場合」とは、図 2 5 9 (3) に示すように、左リール 3 1 の「ベル」、中リール 3 1 の「ベル」、右リール 3 1 の「ベル」が「中段ライン」に停止表示することに相当する。

さらに、「第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 3 ラインに停止表示する場合」とは、図 2 6 0 (3) に示すように、左リール 3 1 の「ベル」、中リール 3 1 の「ベル」、右リール 3 1 の「ベル」が「下段ライン」に停止表示することに相当する。

また、「第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 4 ラインに停止表示する場合」とは、図 2 5 9 (1) に示すように、左リール 3 1 の「ベル」、中リール 3 1 の「ベル」、右リール 3 1 の「ベル」が「右下がりライン」に停止表示することに相当する。

さらにまた、「第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 5 ラインに停止表示する場合」とは、図 2 6 0 (1) に示すように、左リール 3 1

10

20

30

40

50

の「ベル」、中リール 3 1 の「ベル」、右リール 3 1 の「ベル」が「右上がりライン」に停止表示することに相当する。

さらに、「第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 6 ラインに停止表示する場合」とは、図 2 6 0 (2) に示すように、左リール 3 1 の「ベル」、中リール 3 1 の「ベル」、右リール 3 1 の「ベル」が「小山ライン」に停止表示することに相当する。

また、「第 1 リールの図柄 P と、第 2 リールの図柄 P と、第 3 リールの図柄 P と、が第 1 ラインから第 6 ラインまでのいずれかのラインに停止表示したときに、第 1 リールの図柄 Q が表示窓内の所定位置に停止可能である」とは、図 2 6 0 (1) ~ (3) に示すように、左リール 3 1 の「チェリー」が左上段に停止表示することに相当する。

10

20

30

40

50